

1 招へい事業について

◆オアシス社員参加者+一般 9日(10人) 10日(12+2人) 11日(10+1人)
〔参加延人数 64人+10人〕 12日(14+6人) 13日(13人) 14日(5+1人)

◆本事業の収支決算(別紙参照)

◆カンボジア使節団感想メモ(別紙参照)

- ・研修場所に変化があり充実した5日間
- ・たくさんの社員の皆さんが支えた事業
- ・今後の招聘事業の見通し(訪日未経験職員3人)

2 カレンダー制作について

◆ねらい:単なるカレンダーではなく、バイヨン中の生徒の表情と共にオアシスの活動が伝わるカレンダーでありたい。

◆表紙挿入分について

【例文】本カレンダーは、カンボジア王国シェムリアップ市に2013年開校したバイヨン中学校の生徒たちの瞳の輝きと、将来に向けての期待の高まりを写真に収録・編集したものである。 NPO法人オアシス

◆発行部数:500部

◆仕上げ日程

制作委員会開催:10月〔 〕日 脱稿:10月27日(臨時総会) 納品:11月10日

◆カレンダー写真作品展開催について

3 第3回カンボジア訪問(11月)について(詳細別紙参照)

◆日程:11月13日(水)~22日(金) ◆打合せ会:10月27日(日)14:00 蒲郡荘(総会前)

◆参加者:神崎・金田カ・篠田・清水・牧野・寛モ・近藤・山本カ 一般(寛ハ・森下・鈴木・加藤)

◆活動内容:運動会練習(バイヨン・養成学校) 音楽・家庭・環境授業 トンレサップ美化活動
アンコール遺跡・クレン山観光

4 寄付のゼミナールin「あいち2019」の参加について

◆10月25日(金)10:00 蒲郡高等学校会場

出場団体3団体:NPOオアシス NPO青ねこくらぶ NPOしんしろドリーム荘

プレゼンター:金田文子 篠田恵 画像:杉浦修 原稿:足立泰敏(別紙参照)

◆11月15日(金)〔 〕贈呈式及び投票生徒との意見交換授業

広報用の資料作成、実施後の成果報告(足立)

5 広報39号の発行について

◆発行:10月23日発送作業に間に合わせる

◆内容(詳細別紙参照):公募カンボジア訪問、第7回招へい事業

6 臨時総会にむけて(案内状別紙)

◆開催日時・場所:10月27日(日)15:00 蒲郡荘

◆議事:第1号議案:事業中間報告の承認(金田カ) 第2号:収支予算書修正案(平出)

第3号:後期会議・事業(足立) 第4号:事業助成申請案件(足立)

◆要項作成・広報39号発送作業:10月23日(水)13:30 勤労福祉会館内まちづくりセンター

その他

◆TIA世界塾 令和2年2月9日(日)13:00 講師応募:環境教育発表者(山本カ)

2019年度招聘収支計算書(2019年9月8日～14日)

月日	摘 要	収入	支出
4 #	オアシスより 招聘4人分渡航費用	¥300,907	
#	招聘4名分支払い カンボジアJSTへ		¥300,907
6 #	オアシスより 招聘用膳本代	¥600	
#	膳本代 カンボジアJSTへ		¥600
9 9	招聘迎え 半田トンネル(260円×2)、半田IC→リンクーIC(530円×2)、リンクーIC→セントレア(180円×2)、駐車料金600円		¥2,540
9	昼食代・かっぱ寿司 篠田氏支払寄付		
9	招聘寄付(2万円×7名、1万円×8名)	¥220,000	
9	総菜・お酒代		¥17,330
9	オアシスより 宿泊費(1,400円×30名)	¥42,000	
9	宿泊代 設楽町三河総合センター(1,400円×30名分)		¥42,000
#	給食代 設楽中学校(300円×10名分)		¥3,000
#	昼食代 (カンボジア4名+消費税分)		¥10,240
#	茶臼山リフト代(800円×12名)		¥9,600
#	三河総合センター宿泊・参加者食事代(3日分)		¥120,120
#	オアシスより 宿泊費(8,000円×8名分)	¥64,000	
#	宿泊代 豊田プレステージホテル(8,000円×8名分)		¥64,000
#	昼食代は参加者で補填		
#	夕食代は参加者が補填		
#	給食代 浄水中学校(280円×10名)		¥2,800
#	名古屋見学交通費(浄水→名古屋700円×7名、名古屋→浄水700円×1名・名古屋→豊田市760円×6名)		¥10,160
#	夕食代は参加者で補填		
#	招聘送り 松平IC～セントレ(1,900円×4)半田トンネル(260円×2)リンクーIC→セントレア(180円×4)駐車代(600円×4)		¥11,240
#	車レンタル謝礼 ガソリン代		¥20,000
#	招聘送迎用 ガソリン代 (3人分)		¥12,970
	合計	¥627,507	¥627,507

¥0

令和元年度 第7回カンボジア教員研修使節団訪日感想メモ

本メモは、使節団員のみなさんのその時々のお話、つぶやき、表情及びチェン・ソリーア氏と海上明宏氏の英語通訳を通しての記録メモである。(一部記録者の推察内容も含む) 記録者：足立泰敏

〔使節団員のもっとも印象深かったこと〕

セレイバシー：先生たちが校長先生を、生徒が先生をというように日本人はお互いを尊敬し合っている。

ソリア：学校と地域がひとつになって運営する浄水中学校コミュニティースクールのあり方がすごい。

レイ：日本人は時間に正確で、いつも余裕をもって行動が出きている。

チン：どこの学校も体育館が大変大きく、それぞれのスポーツ用具がたくさん整理して用意されている。

〔9月9日〕 ◆竹島の橋の上から魚(エイ)が泳いでいるのが見えた。水がきれいだからこそのこと。

◆蒲郡科学館でのスカイプ通信でルー校長と話ができて感激。浅井先生の空気に関する科学ショーでは、空気に重さがあることが分かった。これからもバイオン中学校に対して継続してスカイプ通信で実験を見せてほしい。

◆回転寿司で食べた刺身はおいしかった。納豆まきもOK。(セレイバシー)

〔9月10日〕 ◆設楽中学校は学校の施設が整い、いろいろな教具も充実。さらに先生と生徒の関係もよく大変ハッピーな学校。(レイ) ◆新任の先生の体育授業で、退職した先生が記録を取り指導している。とてもよいことでうらやましく感じた。(ソリア) ◆体育館が広い。それに加えて、卓球場(武道場)まであってすごい。(チン)

◆夕食では、「チョロモイ(乾杯)」の繰り返しで、オアシスのみなさんとの交流が深まり楽しいひと時だった。

※仲田氏いわく、「チョモロイ・ファミリー」。

〔9月11日〕 ◆設楽中・豊根中学校は校長先生がいなくても、他の先生たちが協力して運営しておりカンボジアと違っている。これらのような学校になるとよい。(ソリア) ◆古月先生の授業を1時間参観した。アメリカ人の先生も加わりとてもアクティブな授業で参考になった。しかし、バイオンは生徒の数が多いためちょっと無理かな。(ソリア) ◆先生と生徒が協力して授業をつくっている。バイオンの授業でも生徒を活動させたい。(レイ)

◆チョウザメ養殖では大きな魚がたくさんおり、びっくり！水がきれいでいつも循環しているから養殖が可能。カンボジアの水では無理？ ◆昼食にチョウザメの刺身が出た。おいしかった。 ◆茶臼山の頂上からの景色は、まわりがすべて山で遠くまで見えた。こんな景色は初めて。いろいろな花が植えられており綺麗。山の上は涼しく、とても快適であった。 ※当日午後の気温、茶臼山23度、田口28度、蒲郡31度(車による外気温)

◆チョウザメ養殖では大きな魚がたくさんおり、びっくり！水がきれいでいつも循環しているから養殖が可能。カンボジアの水では無理？ ◆昼食にチョウザメの刺身が出た。おいしかった。 ◆茶臼山の頂上からの景色は、まわりがすべて山で遠くまで見えた。こんな景色は初めて。いろいろな花が植えられており綺麗。山の上は涼しく、とても快適であった。 ※当日午後の気温、茶臼山23度、田口28度、蒲郡31度(車による外気温)

◆茶臼山の頂上からの景色は、まわりがすべて山で遠くまで見えた。こんな景色は初めて。いろいろな花が植えられており綺麗。山の上は涼しく、とても快適であった。 ※当日午後の気温、茶臼山23度、田口28度、蒲郡31度(車による外気温)

〔9月12日〕 ◆豊田スタジアムの大きさにびっくり、スタンドに入ったときグラウンドの芝の緑の美しさにおもわず「おー！」と声をあげてしまった。 ◆スタンド4階席は、38度の傾斜。どんな感じだろうか。

◆豊田国際交流協会豊田会長から、日本語弁論大会を実施して成績優秀者を日本へ招聘してみてもは。ホームステイを受け入れる体制ができていますのでぜひ豊田へ来てくださいとの提言があった。生徒の日本語学習意欲が高まること間違いなし。

◆トヨタ会館では、トヨタの新しい車や開発途中の未来の車にも試乗でき感激。

〔9月13日〕 ◆体育施設や用具がとても充実している。特に、プールが屋上になってとても機能的に造られている。(チン) ◆前の2つの学校と同様に、校長先生がいなくても他の先生が協力して私たちに対応してくれた。

カンボジアの学校ももっと日本のスタイルを取り入れるとよい。(セレイバシー) ◆学校と地域とがお互いの事業を協力し合いながら運営している新しい学校。バイオン中学校も地域との協働を取り入れると学校が発展すると思う。(ソリア) ◆先生と生徒の関係がきちっとしておりみんな礼儀正しい。(レイ) ◆名古屋駅周辺は人が一杯で、ゆっくり歩けない。(ソリア) ◆ビルの上に木が植えられ公園ができています。カンボジアでは考えられない。(レイ) ◆地下鉄の駅では人が一杯でも、みんながきちっと並んで決まりよく電車を待っている。

◆名古屋駅周辺は人が一杯で、ゆっくり歩けない。(ソリア) ◆ビルの上に木が植えられ公園ができています。カンボジアでは考えられない。(レイ) ◆地下鉄の駅では人が一杯でも、みんながきちっと並んで決まりよく電車を待っている。

◆地下鉄の駅では人が一杯でも、みんながきちっと並んで決まりよく電車を待っている。

〔全般〕 ◆日本のご飯は粘りが強く、少しの量でおなか膨れる。日本で食べた食事はおかずの品数が多く、いつも腹一杯。体重が確実に増えた。 ◆お土産は、ビッグカメラの時計から安い物をダイソーでたくさん買うことができた。セレイバシー氏はビッグカメラで時計4個。ダイソーでは菓子類・折り紙など。 ◆日本はすべてがクリーンでゴミが落ちていない。

※全員体調を崩すこともなく、14日朝無事帰国の途に着きました。

令和元年度第3回カンボジア訪問活動表

訪問日 令和元年11月13日(水)～22日(金)

参加者 1班:◎神崎恭紀 金田勝己 近藤伴和 寛元江 寛八郎(一般) ◎総指令
 2班:○篠田恵 牧野早苗 森下千代枝(一般) 鈴木明子(一般) ○班長
 3班:○清水孝子 山本克仁 加藤悦子(一般)

宿泊地 フランジパニホテル RC有り Tel (855) 1658-1045

活動内容

11月13日 (水)	集合:8:00 1・2班ベトナム航空会社カウンター前集合 出国 中部国際空港 → ハノイ空港 → シェムリアップ空港 ⇒ カフェモイモイ 10:15 (VN347) 14:05 17:00 (VN839) 18:50 打合せ
14日(木)	〔午前〕バイヨン中学校:神崎〔9年体育A・B〕 金田〔8年体育AB合同〕 篠田・牧野・森下・鈴木〔8年A家庭科3時間連続〕 〔午後〕教員養成学校:金田・神崎・近藤〔運動会練習〕 市内散策:篠田・牧野・森下・鈴木・寛夫妻
15日(金)	〔午前〕バイヨン中学校:神崎〔9年体育B・C〕 金田〔8年体育BC合同〕 篠田・牧野・森下・鈴木〔8年B家庭科3時間連続〕 〔午後〕バイヨン中学校:金田・神崎〔7年体育AB、CD合同2時間〕 寛夫妻〔理科実験指導〕 鈴木〔図工(折紙)A・B〕
16日(土)	〔午前〕バイヨン中学校:金田〔9年体育AB、BC合同2時間〕 神崎〔8年体育A・B〕 篠田・牧野・森下・鈴木〔8年C家庭科3時間連続〕 〔午後〕バイヨン中学校:金田・神崎〔7年生体育AB、CD合同2時間〕 鈴木〔図工C・D〕
17日(日)	〔終日〕全員:クレン山観光 ※体調次第で部屋飲み、マッサージで待機も可 3班出国 中部国際空港 → ハノイ空港 → シェムリアップ空港 ⇒ ホテル 10:15 (VN347) 14:05 17:00 (VN839) 18:50
18日(月)	〔午前〕バイヨン中学校:金田〔9年体育AB、BC合同2時間〕 神崎〔8年体育C・D〕 清水〔8年A・B・C音楽〕 篠田・牧野・森下・鈴木〔8年D家庭科3時間連続〕 〔午後〕教員養成学校:金田・神崎・近藤・山本〔運動会練習〕 美術スクール:清水・篠田・寛夫妻・牧野・森下・鈴木・加藤
19日(火)	〔午前〕バイヨン中学校:金田〔9年体育AB、BC合同2時間〕 神崎〔8年体育A・B〕 山本〔8年全員環境〕 清水〔8年D・A・B音楽〕 〔午後〕バイヨン中学校:金田・神崎〔7年生体育AB、CD合同2時間〕 〔終日〕アンコール遺跡:寛夫妻・牧野・森下・鈴木・加藤
20日(水)	〔午前〕トンレサップ湖美化活動:全員〔クルーズ組は終了後ホテルへ〕 〔午後〕バイヨン中学校:金田・神崎・近藤・山本〔7年生体育AB、CD合同2時間〕 〔午後〕2班帰国準備 シェムリアップ → ハノイ → ※22日と同じ 19:50 (VN838) 21:35 00:15(VN346)
21日(木)	〔午前〕バイヨン中学校:金田〔9年体育AB、BC合同2時間〕 神崎〔8年体育C・D〕 清水〔8年C・D音楽〕 山本〔8年環境アンケート〕 〔午後〕1班・3班 帰国準備 シェムリアップ → ハノイ 19:50 (VN838) 21:35
22日(金)	〔帰国〕 ハノイ空港 → 中部国際空港 00:15(VN346) 6:30

◆教員養成校の授業の有り無し、日程等は現地に行ってから把握。それによってバイヨンの授業変更あり。

◆今年度のトンレサップでの生徒のクルーズはなし。弁当をクレン山で食べて帰校する。

◆21日の環境アンケートは、20日の帰校後に実施することもありうる。

◆午後の授業は3・4時間目(14:00～16:00)が妥当かと思う。

◆夕食は、夕食後の予定を考慮し、可能であれば17:30及び18:00スタートがよい。

◆ポケトークを持参するとよい。(杉浦借用)

寄付のセミナー講演内容「グローバル社会に育つカンボジア学校づくり支援」

私は、ご当地蒲郡に本部もつNPO法人オアシスの金田文子と申します。

私たちオアシスは、1990年代よりアフリカでの支援活動を皮切りに、2009年からはカンボジア王国の世界遺産アンコールワットのあるシェムリアップの町に拠点を置き、主に中学校で授業や学校行事などの教育活動支援を行っている団体です。

まず、タイトルの「グローバル」といた言葉であります。これはみなさんもお存じの「グローバル」と「ローカル」を組み合わせた造語であります。「世界的と地域的の両面を併せ持っている」という意味合いで、ご理解ください。

さて、私たちは、本セミナーを通して何がしかの寄付金をいただけるとするならば、それらはすべてシェムリアップ市にあるバイヨン中学校の環境教育の活動に使っていきたくと考えます。

このバイヨン中学校は、世界遺産アンコールワット遺跡のすぐ西側にあり、2013年に開校しました。これは国が造った学校ではなく、現地の団体JSTを中心として、私たちオアシスや日本・アメリカの志のある多くの人たちの支援でできた学校です。公立中学校として位置づけられていますが、国からの学校予算はわずかで、多くは開校に関わった団体によって支えられています。その現実からしても、バイヨン中学校はグローバルであります。

2019年度は513名の生徒に対して校長を含め14名の先生が、午前午後の2部制で指導にあたっています。私たちオアシスは、開校当初より授業実践を中心として各種教育活動の充実に努力してきました。特に、体育授業の発展として運動会の開催に挑戦しました。3年間の練習と準備をして行った第1回の運動会は、先生・生徒たちへは自信と誇りを、そして保護者・地域の人たちには、学校教育の可能性を広く知らしめた行事となりました。第4回の本年度は、村人総出の地域最大の行事として発展してきています。地域と共に育つ「ローカル的な基盤」を確立しつつある教育活動と言えます。

また、わたしたちは訪問の度に、現地の小中学校ではほとんど実施されていない体育・音楽・家庭科・図工美術・情報などの教科を中心に、技能・技術の習得に加えてできるだけ楽しさを味わえるような教材を選び授業実践をしてきています。

さらに、毎年現地の先生方を愛知県に招き、学校現場での研修を実施しています。たまたま一昨年度は、蒲郡高等学校への参観が実現し、蒲高生の皆さんの熱心な勉強ぶり、そして多彩な授業の内容を学んで帰国しました。

さて、ごく最近のニュースとして、地球環境保護を訴えるスウェーデン高校生グレタ・トゥンベリさんを中心とする中・高校生の世界規模の抗議活動が話題となっています。ご存じでしょうか。そんな中、私たちも昨年度より地域にある世界遺産アンコールワットやカンボジアの水資源としてのトンレサップ湖の環境保護に関わる学習を立ち上げました。その具体的取り組みと、今回いただける予定の寄付金の使途について、篠田が説明いたします。

篠田恵と申します。

今回、もし寄付金をいただける場合、その寄付金を使い道と考えていますバイヨン中学校の環境教育の実際についてご説明いたします。

開校 7 年目を迎えるバイヨン中学校は、校長の強いリーダーシップのもと、日本の学校の清掃活動を手本に生徒・先生が力を合わせて校内美化に取り組み、カンボジアの学校では稀な「ゴミのない綺麗な学校」が維持されてきています。

しかし、いったん村やシェムリアップ市街を歩いてみると、紙類やプラスチックゴミの散乱が非常目立ちます。現状のごみ処理の方法としては埋立てる方法しかとっておらず、焼却やリサイクルシステムはほとんど機能していないと言えます。また、アンコール遺跡へは年間 500 万人もの外国人観光客が訪れ、森林原野の焼畑に加え、車の排気ガスが酸性雨の発生要因へとつながり、熱帯ジャングルの減少や遺跡の建造物の劣化に影響が出てきています。これらのことは、いちカンボジアの損失のみならず地球規模での損失と言うべきでしょう。

私たちはバイヨン中学校の先生たちの協力を得て、昨年度より「大好きシェムリアップ！私たちの環境保護への挑戦」と題して、7 年生は学区での美化活動、8 年生はトンレサップ湖、そして 9 年生はアンコールワット含むアンコール遺跡周辺の美化活動に着手しました。これらの実践は、運動会や文化祭をはじめとして協働することの良さを積み上げてきているバイヨン中学校の生徒たちには、情熱をもって取り組む教育活動の一つになっています。

そこで、皆さんに提案いたします。バイヨン中学校の生徒たちと共に環境保護への活動に加わる方法について一例をお示しいたします。

それは、まず日本で、皆さんからのアイデアをいただきながら、バイヨン中学校への応援メッセージを加えた環境保護の英文パンフレットを作成します。次に、それをバイヨン中学校が行うアンコール遺跡やトンレサップ湖での美化活動の中で、観光客に対して配布してもらうことで、みなさんも環境保護活動に参加していく取り組みです。いかがでしょうか。

もしこの活動に参加する場合、パンフレットを作るアイデアの提供と共に、紙代・印刷代は今回のセミナーでの寄付金を使わせてもらいます。他にも、特に 8・9 年生のバス 10 台分の交通費の一部に使いたいと考えています。

現在私たちがやっている活動は、国境を越えた遠い国カンボジアのことで「グローバル的な位置づけ」となりますが、教育や環境などの内容は、私たちの身近な生活の中に共通してある課題で「ローカル的な内容」でもあります。このような考え方に立つと、世界の遠い国の出来事も「遠くて近いグローバルな内容」として位置づけることができます。

いかがだったでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。

広報オアシス 39号構成案

〈表面〉

「新たな発見 in カンボジア」と銘打ち、9名の現職の先生方と共にカンボジア訪問を実現しました。「日本の酷暑を逃れて、避暑に来た感じ！」などの驚きの声と共に、地球規模の異常気象の現実を体感したシェムリアップの街。バイヨン中学校の生徒と一緒に取り組んだ環境保護活動、「チョロモイ（乾杯）」を繰り返しながら心を通わせたバイヨンの先生方との交流会、そして、神秘的に満ちたアンコール遺跡の輝きなど、短期ではあったものの非日常性に身を置き、参加者自身が国際理解と共に自己理解を推し進めた5日間となりました。

- ・できるだけ公募参加者が写ったスナップ及び全員の集合写真もあるとよい。

〈裏面〉

第7回を迎えたオアシス主催『カンボジア教員研修招へい事業』は、9月9日の蒲郡市生命の海科学館を皮切りに、設楽町・豊根村、そして豊田市の浄水中学校を最後に過密な日程を無事終えることができました。本研修にご協力いただいた関係各位に感謝申し上げます。

14日朝、使節団の皆さんは、「驚きと感激のお土産」を脳裏に詰め込み機上の人に。そのお土産の中身には、「先生たちが協力し合っている」「授業がアクティブでハッピーな感じ」「運動用具がどの学校も一杯」「どこも綺麗で完璧」「生徒を含めみんなが時間厳守」などなどが。日本の誇るべき学校文化と言えるものでしょうか。

- ・近藤さんの写真に加え、トヨタの研修での写真は海上さん撮影の写真を活用。

令和元年9月吉日

NPO法人オアシス社員 各位

非営利活動法人オアシス

理事長 足立 泰敏

令和元年度 オアシス臨時総会の開催について (ご案内)

このことにつきまして、下記の通り開催いたします。ご多用のところ恐縮ですが、ご出席下さいますようご案内いたします。

記

日 時 令和元年10月27日(日) 15:00～

※11月カンボジア訪問をされる方は、14:00より同会場にて打合せ会を開催します。

場 所 蒲郡荘 1F小島

内 容

第1号議案 令和元年度事業中間報告承認の件について

第2号議案 令和元年度収支予算書修正(案)承認の件について

第3号議案 活動の見直しと新年度以降の活動指針について

- ・カンボジアの支援対象内容について
- ・公募カンボジア訪問事業について
- ・招へい事業について
- ・カレンダー制作について
- ・認定NPO法人の認可に向けて
- ・その他

※日頃のお考えをたくさんお聞かせください。

※ 尚、総会に欠席される方は、定款第28条2項の規定により、以下の委任状をご記入のうえ、10月21日(月)までにFax又はEmailにてご提出ください。よろしく申し上げます。

-----切り取り線-----

委任状	私儀、本総会の決定権のすべてを参会者に委任いたします。
	令和元年 月 日 氏名 印

[連絡先] NPOオアシス事務局 足立泰敏

TEL・Fax:0533-69-0052

Email: adyas602@infoseek.jp

8年生 環境学習指導案

指導者 山本 克仁
通訳

1 Date 18, 19, 20, 21/11/2019

2 Attainment target

- (1) We make the students to increase motivation of cleaning by Tonle Sab lake.
- (2) We make the students to aware the important of Tonle Sab Lake Geographically, historically.
- (3) We make the students to aware plastic waste is the manmade crisis and this cleaning activity is to keep their life safe and raise public awareness.

3 本時の指導

(1) 自己紹介のなかで、我々も海洋汚染の課題をかかえていることを伝える。

- ・三河湾という内海に面している所に住んでいる。 地図
- ・内海は、豊富な漁業資源があるが、プラスチックゴミにより汚染されて来ている。 写真
- ・死んで打ち上げられたスナメリやウミガメの体から出てくるプラスチックゴミ。 写真
- ・児童・生徒がゴミ拾いの活動をしている。 写真

◎発問 : 生徒の気づき

(2) トンレサップ湖の重要性に気づかせる。・「Heart of Cambodia」と言われるのは何故か

- ・アンコールトムの壁画 戦争の場 水を制した支配者 写真
- ・国際河川メコン川との関係 B紙
- ・雨季と乾季の湖の異なる姿

◎発問 「みなさんにとっての湖は生活に結びついていますか」

- ・汚染 以前のクリーン活動から プラスチックごみ
- ・水の重要性
- ・豊富で多様な生態系
- ・漁業資源

(3) 大事な湖をみんなの力できれいにしたい

- ・プラスチックの問題

◎発問 「なぜプラスチックゴミは多いのでしょうか」

Synthetic material (合成素材) cheap safer? More convenient, single-use object

How do we dispose of them?

The problem they can't be easily broken down.

It can take hundreds of years for plastics to break down.

◎発問 「どうしたら減らすことができるでしょうか」

- ・Refuse Reduce Reuse Recycle
- ・raise public awareness

◎湖の周辺のゴミ拾いをしましょう。

〈シカゴロール〉 21世紀型コネクション（シカゴロール教育者）
 理念：知識やスキル（価値観）は、
 支えなければならない

学習は
競争的
ではない

21世紀

自己管理、責任ある意思決定、自己認識
 グローバルな認識や異文化スキル



既成あり市民 自信あり人物
 自主学習者 積極的な貢献者

